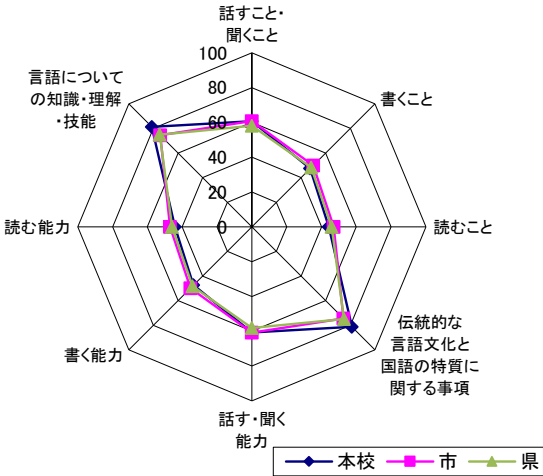


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	60.7	60.8	58.1
	書くこと	47.4	49.8	48.3
	読むこと	44.2	47.0	45.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.3	74.4	74.8
観点	話す・聞く能力	60.7	60.8	58.1
	書く能力	47.4	49.8	48.3
	読む能力	44.2	47.0	45.9
	言語についての知識・理解・技能	81.3	74.4	74.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話すこと・聞くことの前平均正答率は60.7%で県より2.6ポイント上回っている。 ○3つの設問についての正答率は、全て県より上回っている。 ●「話し合いの中で意見の共通点を考えて書く」(記述式)の正答率は51.3%で、県より4.3ポイント上回っているが、他の問題と比べ正答率が下回っている。	・話す力・聞く力を付けるために、言語活動をいろいろな教科・領域で取り入れていく。 ・話し合いの中で、内容の要点をつかむ力を高めるため、司会者の立場を経験する機会を増やしていく。
書くこと	●書くことの前平均正答率は、47.4%で、県より0.9ポイント下回っている。 ○「掲示物の内容に合う資料を選ぶ」の正答率は80.8%で、県より4.7ポイント上回っている。 ●「インタビューの結果を基に必要な内容を整理して書く」(記述式)の正答率は37.2%で県より3.9ポイント下回っている。	・文章の構成を考えながら文章を書く機会を多くとる。 ・互いの文章を読みあったり、相互評価を取り入れたりする活動をしていく。
読むこと	●読むことの正答率は44.2%で県より1.7ポイント下回っている。 ○「物語を読み、叙述を基にして、特徴的な描写を捉える」の正答率は29.5%で県より5.4ポイント上回っている。 ●説明文の内容の理解では、3つの設問について県より平均正答率が下回っている。	・段落の要旨をとらえる活動を取り入れる。 ・設問の意味を読み取り、的確な答えを文章から見つけることができるよう、個別に支援をする。 ・多様な文章を読む機会を多くとるようにしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○伝国の平均正答率は81.3%で、県より6.5ポイント上回っている。 ○漢字の読み・書きの正答率は県よりすべての設問で2.2から21.7ポイント上回っている。 ●「ローマ字の読み方」の正答率は62.8%で、県より12.1ポイント下回っている。	・ローマ字を書いたり見たりする機会を増やす。 ・ローマ字の問題を宿題に計画的に取り入れる。 ・漢字の学習については継続的に指導していく。